



5月調査でクレジットカード決済がさらに増加！QRは停滞？ キャッシュレス決済マンスリー調査の結果を発表



いつもお世話になっております。

グローバル市場調査会社のイプソス株式会社は、様々な決済手段の利用状況について2020年1月から毎月調査を実施し、前月の消費について決済方法の実態を捉えるキャッシュレスマンスリー実態調査をオンラインアンケートにより聴取しました。5月の調査結果を一部ご案内いたします。

<結果の要約>

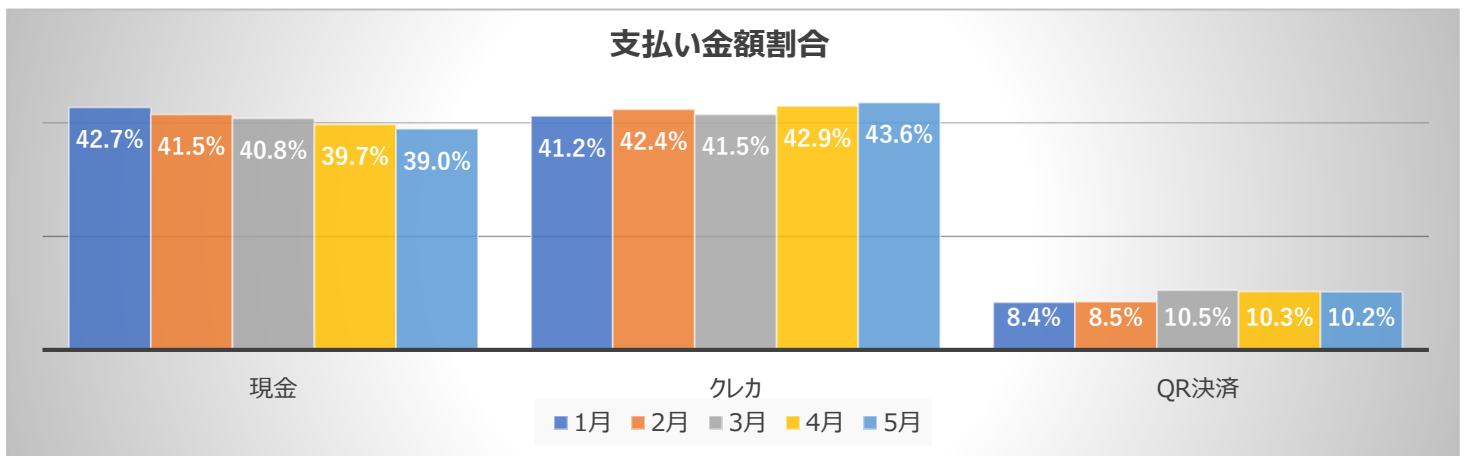
- 5月調査の結果、クレジットカード決済がさらに進んでいる。現金支払いの割合は今年1月調査と比べると約3.7%減少し、クレジットカードでの決済は1月調査と比べると約2.4%増加した
- QRコード決済の停滞が見える中、利用率はPayPayの一強化が進む

毎月の支払いに利用した各決済手段シェアがわかる調査

イプソスは2020年1月から毎月、約2,400名に対して、先月1か月間のクレジットカード、QRコード決済、デビットカード、電子マネーとプリペイドカード、現金の利用実態について、オンラインアンケートを実施しました。

先月、固定的に支払うものを除き、お買い物として決済している金額の割合を聴取し、さらに、各決済手段を毎月何回くらい利用しているのかを聞いており、金額と利用回数を両方把握できるデータとなっております。

以下は2020年1月～5月の現金とクレジットカード、QRコード決済の利用金額割合の推移です。

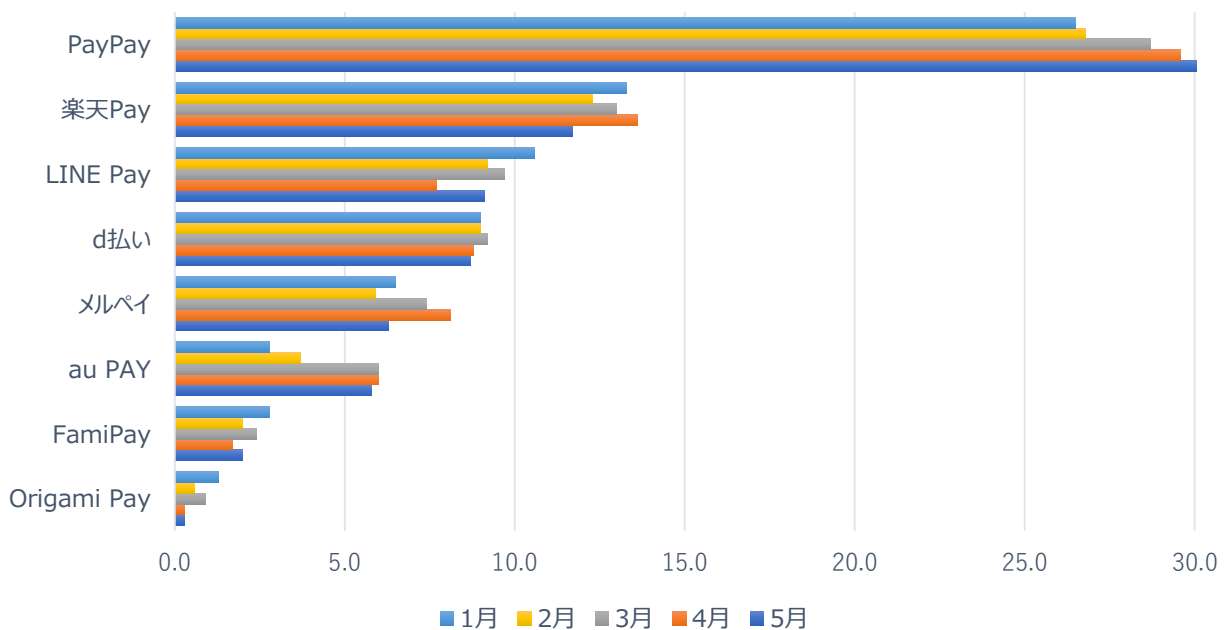


現金の支払い金額割合は毎月減少しつづけています。毎月1%前後ではありますが、着実に金額割合が減っており、どこまで減っていくのかが気になるところです。その反面、クレジットカードは3月の調査結果でQRコード決済の増加に伴い若干の減少は見られましたが、1月の調査結果から比べると着実にその利用が増えております。QRコード決済が3～5月調査での成長がみられない中、クレジットカードはさらにその利用を伸ばし、キャッシュレス化に貢献しているように見えます。

QRコード決済の利用シェア

QRコード決済の支払い金額の割合は3～5月で成長はしていませんが、QRコード決済内の利用率を見るとPayPayの一強化が進んでおります。他のブランドの利用率は毎月増減を繰り返している中、PayPayは毎月利用率が上がっております。

QRコード決済利用シェア



調査の詳細について

イプソス金融チームは、消費者動向や日本国内外の金融サービスの利用状況などを幅広く捉え、エンドユーザーに対するサービスの改善を図る金融機関様に資する情報提供を行ってまいります。

本データは、2020年1月から実施しているキャッシュレスマンスリー調査において、決済手段の利用状況について聴取したものととなります。次回の調査は6月19日～22日に実施する予定です。

本調査のより詳細なデータをご購入いただいた場合、クレジットカードの国際ブランドやイシュー別、QRコード決済ブランド別の支払い金額のシェアや利用回数などの情報がご覧いただけます。また、この結果をもとにした深堀調査もできますので、ご興味がありましたら是非弊社までご連絡ください。

調査概要

調査対象	日本全国 18～79歳 男女
調査期間	2020年1月15日～20日、2月14日～17日、3月13日～16日、4月17日～22日、5月15日～5月19日
サンプルサイズ	1月2,401名、2月2,401名、3月2,400名、4月2,400名、5月 2,400名
調査手法	オンライン調査

イプソス キャッシュレス大規模調査に関する問い合わせは下記まで



イプソス株式会社 | 担当：沼波 chie.numanami@ipsos.com
呉 jeongryul.oh@ipsos.com
〒105-0001東京都港区虎ノ門4-3-13ヒューリック神谷町ビル
<https://www.ipsos.com/ja-jp>